場所・面積

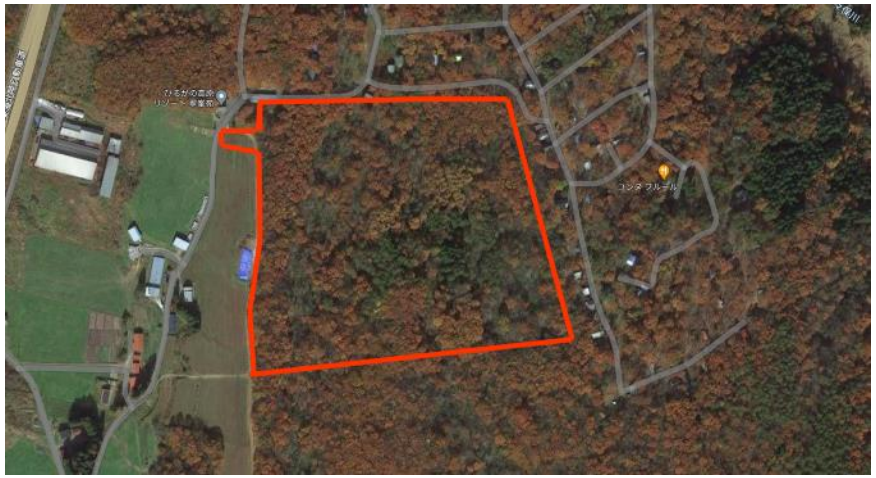
岐阜県高山市、9.8 ha

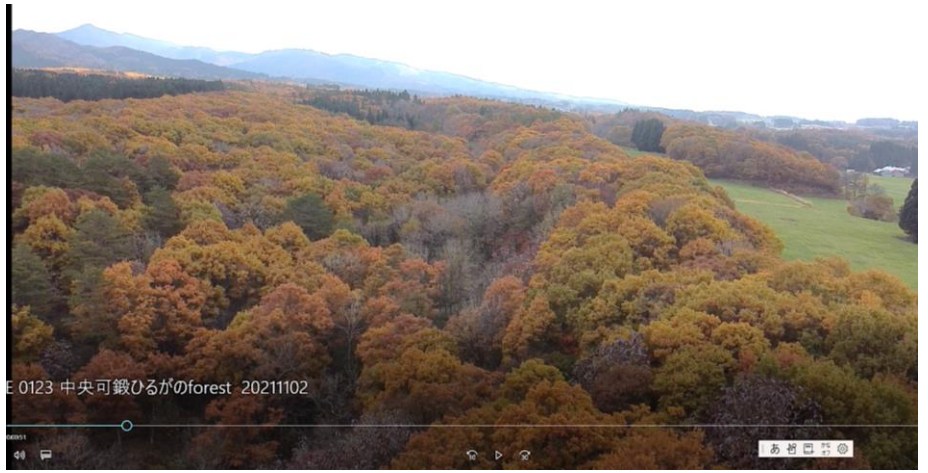
管理目的

里地里山といった二次的自然林の中で、自然環境に特徴的な生態系が存在する社有林として、従業員を含むステークホルダーが認識し、その自然環境や生態系を維持すること。

サイト概要

社有林（自然林）





土地利用の変遷

1960年台に別荘地（商品土地）として購入したが、土地開発や使用をせず60年程度経過し現在に至ります。人が足を踏み入れたことはありません。2021年11月に現地確認を実施、岐阜県立森林文化アカデミーの先生と飛騨高山森林組合の方にご同行いただき確認を行ったところ、「樹木は、樹齢50～60年生の広葉樹林。ブナ、くぬぎ、他、サイト中央にせせらぎが流れておりその一部が湿地帯となっている。獣道があり、自然豊な森となっている。人が手を入れない（間伐や植林などをしない）方がよい」とのご意見をいただきました。

サイト周辺の環境

ひるがの高原の別荘地や牧歌の里などがある高原リゾートにあり
ひるがの分水嶺公園（日本海、太平洋）が近くにあり、この分水嶺から北は荘川～日本海へ、南は長良川～太平洋へ流れる水源地となっています。

アピールポイント

30by30の今回の申請にあたり、当サイトが、岐阜県高山市が「生物多様性ひだたかやま戦略」の中で「高山市内の保存林及び保護地区指定地域」に該当する生物多様性に貢献できる可能性のある場所であることを認識できたことで、この自然豊な社有林を大切にしていきたいとの想いが深くなりました。

生物多様性の価値

価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

【場の概況】

＜植生や地形について＞
・樹齢が数十年経過したどんぐりや楓などの広葉樹林が密集し低地は熊笹が繁茂している。全体的に傾斜地となっており谷底は湿地帯となっている。広葉樹林は50～60年ほど人の手が入っていない二次林である。
＜動物について＞
・所々に獣道が見られイノシシやシカ、ノウサギなどの野生動物が生息していると思われる。
・隣接する施設では、リス、ニホンカモシカ、キツネなどの哺乳類、ノジコやオオルリなどの鳥類、希少な昆虫類の生息が確認されており、本サイトも利用している可能性がある。
・また、高山市は、「高山市環境基本計画」、「生物多様性ひだたかやま戦略」の中で、ギフチョウ・ヒメカンアオイ生息保護地域として、荘川町野々俣地区を指定しており、本サイトの森林生態系や湿地が維持されることでそれらの種の保全に貢献する可能性がある。

【主な植生】

ミズナラ、ブナ、クマザサ、クヌギ、カエデ科植物　　（植生自然度7）

【確認された主な動植物】

隣接する施設における情報に限るが、リス、ニホンカモシカ、キツネなど哺乳類３種、ハリオアマツバメ、ノジコ、キビタキ、キジなど鳥類10種など。
ほか、痕跡に限るが、イノシシ、シカ、ノウサギの生息可能性がある。



写真の撮影年月：2021/11
写真の説明：ミズナラ、ブナ等豊かな二次林が形成されている



写真の撮影年月：2021/11
写真の説明：同上

サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
【管理計画の内容】 森林生態系に詳しい岐阜県立森林文化アカデミー、森林組合の関係者の助言により、現在の自然性の高い二次林を保つため、ソーラーパネル設置等の開発、立ち入りや動植物の過剰な採取、伐採などを控え、保護をする方針。	**【モニタリング対象】** 樹木、動物の痕跡 **【モニタリング場所】** サイト外周 **【モニタリング手法】** ３年に１回程度、現地にて外周（可能な限り全周）からの観察確認を行う **【実施時期及び頻度】** ３年に１回程度実施する **【 実　施　体　制 】** 当社の従業員（総務担当部門）にて実施予定、必要に応じて森林組合の方などに協力を依頼する